

ごみかんよりお知らせ

羽村バイオガス発電所（東京都羽村市）が7月9日に竣工しました。バイオガス発電所は都内では2カ所目になり、10月にも発電を始めるそうです。

食品廃棄物が1日80トン処理でき、発電出力は毎時1100キロワット。これまで多摩地域の自治体から東京湾岸のリサイクル施設まで運んでいた学校給食の生ごみが、近くでエネルギーになることは大賛成！ 合わせて発電後に残った物質を堆肥化の施設も待たれるところです。焼却ごみを減らしてCO2削減。本気で実行していきたいですね！

市民ごみ大学 セミナー

10月17日

14:00～16:30

国分寺労政会館 第5会議室

- 講師：東洋大学名誉教授・ごみ減量資料室代表 山谷修作さん
- 発表：武蔵野市ごみ総合対策課 菅野詩郎さん

「多摩地域のごみさらなる減量を進めるために」

420万人以上が住む東京多摩エリアは、いまや“ごみ減量先進地域”。家庭系、事業系、それぞれに多摩地域を題材に研究されている山谷先生に、これまでの総集編となる結果報告をもとに、参考となる全国事例や今後のごみ減量の取組みについてお話いただきます。また、自治体からは武蔵野市のごみに現場でごみ減量に取り組んでこられた菅野さんに発表していただきます。行政担当者の皆さんも、この機会を逃さずに、ぜひ今からご予約ください。

参加費（資料代）：一般1,000円、会員・学生500円

＊いののつぶやき

まだわからないことだらけの新型コロナウイルスですが、こいつに負けずに生きていくために必要なのは「免疫力」かなと思います。ステイホームには限界があります。新しい世界と言われてもテレワークで済む人などわずかです。リアア世代だって、家にもって自分らしく生きてるといえない人も（私です）。となると、ウイルスに接触しても排除できる体になるしかない。免疫学者の宮坂昌之さんはそのことを「自分が持つ免疫力をフル活用できる状態に保持すること」と言っています。そのためには、ちゃんと寝て起きて朝日を浴びる、軽い運動をして、バランスのよい食事をし、ストレスを減らす。リタイア世代はすぐできそうです。問題は働く世代。彼らが免疫力を保持できる働き方ができること、それが「新しい世界」だと思います。

多摩市で「気候非常事態宣言」を宣言！

6月25日、多摩市と多摩市議会が共同で宣言しました！ 都内初、そして議会と共同での宣言は全国初です。

多摩市公式ホームページより

世界では、気候変動は避けることのできない緊急事態であり、もはや「気候危機」であると言われています。多摩市と多摩市議会はこの気候危機を防ぐために、気候が危機的な状況にあることを全市民と共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組むことを目的として、多摩市気候非常事態を宣言するものです。

1. 「気候危機」が迫っている事実を市民全員と共有し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。
2. 資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進します。
3. 生物多様性の大切さを共有し、その基盤となる水とみどりの保全を積極的に推進します。

エネルギーのことはもちろんですが、特に2と3が加わって、環境活動をしている市民たちは大変喜んでます。さっそく、市長自ら川ごみ調査に参加し宣言文を説明、活動をねぎらい共に汗を流していました。

≡多摩市気候非常事態宣言 記念 オンライン講演会≡
『気候危機への取組みと

コロナ禍からのグリーン・リカバリー』

8月22日（土）14:00～16:00 無料

申込方法

（一社）多摩循環型エネルギー協会のホームページ <http://tama-enekyo.org/> から、当日10時までにお申込みください。ZOOM可能な方はどなたでも視聴できます。 問合せ：info@tama-enekyo.org

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円（一口）

郵便振替 □座名：ごみ・環境ビジョン21
□座番号：00130-1-603521

◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号（FAX）をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。